

RateMux C6920 からIP アドレスを取得して変更する方法

目次

[概要](#)

[はじめに](#)

[表記法](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[RateMux に接続する方法](#)

[ハイパーターミナルを使用する接続手順](#)

[connect.exe プログラムを使用する接続手順](#)

[RateMux からIP アドレスを検索する方法](#)

[RateMux のパワーPCカードのIP アドレスを変更する方法](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco 6920 RateMux の IP アドレスを取得または変更する方法について説明します。

注: この文書に記載されている情報は RateMux 基づいた on Cisco バージョン 2.5 です。RateMux 6920 の説明に関しては、[データシートCisco 6920 RateMUX Advanced MPEG-2 マルチプレクサ](#)を参照して下さい。

注: Cisco RateMux バージョン 2.3 の後で、6920 は 10.0.0.200 の固定IPアドレスが付いています。これは Cisco ルータの初期設定を容易にすることです。より古いバージョンを実行する場合 [RateMux から IP アドレスを取得する方法](#)を、この資料に記述されています。

[はじめに](#)

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

[前提条件](#)

このドキュメントの読者は次の項目に関する知識が必要です。

- デジタル プログラミング
- サテライト レシーバ

- エンコーダ
- MPEG-2 転送する
- 直交振幅変調 (QAM)
- Digital Headend Interface (DHEI)
- デジタル ビデオ ブロードキャスト非同期 シリアルインターフェイス (DVB-ASI) 規格
- 選択的なビットレート リダクション

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- PowerPC カードが付いている Cisco RateMux 6920
- ソフトウェア connect.exe および/またはハイパーターミナルは PC でロードしました
- イーサネット クロスケーブル 1 本

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

RateMux に接続する方法

PowerPC カードに 1 つのイーサネットポートおよび 1 デバッグ ポートがあります。RateMux にアクセスするのにこれら二つのポートを使用できます。次の図 1 を参照してください。

図 1 : Cisco RateMux 6920 デジタル ビデオの PowerPC カード

次の 2 つのセクションは [ハイパーターミナル](#) および [connect.exe プログラム](#) 両方を使用して RateMux に接続する方法を記述します。

ハイパーターミナルを使用する接続手順

ハイパーターミナルを使用して RateMux に接続するために下記に提供される手順に従って下さい :

1. PowerPC カードのデバッグ ポートから PC のシリアルポートにシリアルケーブル RS232 を接続して下さい。注: 終端 ポートは使用されません。図 2 : ハイパーターミナルを使用する接続トポロジー
2. 次の設定との COM1 のハイパーターミナルセッションを開始して下さい:ビット/秒 = 57600データビット = 8パリティ = **どれも**ストップ・ビット = 1フロー制御 : なし図 3 ハイパーターミナル 設定のピクチャを示します。図 3 : RateMux に接続するべきハイパーターミナル 設定
3. RateMux Power **OFF** を回して下さい。
4. **ハイパーターミナル**を起動させて下さい。
5. HyperTerminal メニュー棒から 『Call』 を選択して下さい。
6. RateMux の電源。
7. RateMux をつけることの 10 秒以内に、HyperTerminal Call メニューから 『Connect』 を選択して下さい。
8. HyperTerminal 画面の Open ウィンドウのマウスカーソルをクリックして下さい。

9. 接続までの毎秒が確立されるまたはスペースバーおよそ『Enter』をクリックして下さい。最初の数行は Cisco 6920 によって使用されるブート・ローダリビジョン番号および IP およびイーサネットの MAC アドレスを示します。下記に図 4 参照して下さい。図 4：RateMux のパワーサイクルを行った後ハイパーターミナルで表示する

connect.exe プログラムを使用する接続手順

もう一つの方法アクセスは connect.exe プログラムの起動によって RateMux 行います。Cisco はデスクトップか PC にこのプログラムのショートカットを置くことを推奨します。Connect.exe はイーサネットで PC からの RateMux への接続を確立します。これはネットワーク接続がクロスオーバーイーサネットケーブルを使用して堪能である場合もあります。下記に図 5 参照して下さい。

図 5：イーサネットポートおよび connect.exe プログラムを使用した接続

注: クロス ケーブルがない場合、よくあるハブに接続される 2 つのストレート ケーブルを使用できます。

クロス ケーブルかハブを使用しながら:

- PC および RateMux の IP アドレスが同じサブネットにあることを確かめて下さい。
- PC で定義される正しいゲートウェイを持つために確かめて下さい。

これを達成するために PC の TCP/IP プロパティを変更できます。

物理的に接続される、通信を確立するのに次のステップを使用して下さい。

1. RateMux OFF に動力を与えて下さい。
2. アイコンをダブルクリックから **connect.exe プログラム**を開始して下さい。
3. 『Connection』をクリックして下さい。
4. 接続メニューの下で『Connect』をクリックし、RateMux の IP アドレスを入力し、『OK』をクリックして下さい。
5. RateMux の電源。
6. Open ウィンドウのカーソルをクリックし、接続が確立されるまで入力がスペースバーを見つけて下さい。接続が確立された後図 6 connect.exe ウィンドウを示します。図 6：RateMux への接続が確立された後 Connect.exe ウィンドウ

RateMux から IP アドレスを検索する方法

通常、ユニークな IP アドレスは RateMux にある PowerPC モジュールに割り当てられます。与えられる IP アドレスはネットワーク 10.0.0.0 にあります。Web ブラウザは Cisco 6920 と専ら通信するのにこの事前割り当て IP アドレスを使用します。この IP アドレスは Cisco 6920 のラベルで印刷されます。

注: バージョン 2.3 およびそれ以降に関しては、RateMux は 10.0.0.200 のデフォルト IP アドレスが付いています。

時々 Cisco 6920 に IP アドレス ラベルがありません。IP アドレスを判別するために下記のようにプロシージャに従って下さい:

1. RateMux に接続するために[ハイパーターミナルプロシージャ](#)のステップに従って下さい。
2. 接続が確立されれば、IP アドレスは出力第 2 行で現われます。 [図 4](#) 示されている例では IP アドレスは 10.0.0.178 です。

[RateMux のパワーPCカードのIP アドレスを変更する方法](#)

ほとんどの場合 RateMux にリモートアクセスことはできることは好ましいです。ただし、あらかじめ定義されたアドレスはネットワーク体系でないかもしれません。IP アドレスは 255.0.0.0 およびゲートウェイ 10.0.0.1 のマスクの 10.0.0.0 ネットワークで通常現れます。255.255.255.0 のマスクおよび 10.0.0.6 のゲートウェイをまたよくあります持っていることは。

この場合、PowerPC カードの IP アドレスを変更することは好ましいです。これはハイパーターミナルが connect.exe によってすることが出来ます。ただし、ハイパーターミナルを使用することは推奨しますあります。connect.exe を使用した場合、RateMux として同じサブネットにあるために最初に PC の TCP/IP 設定を行わなければならないことに注意して下さい。この IP アドレスを変更した場合、接続を得るために PC の TCP/IP 設定をもう一度行う必要があります。

1. [ハイパーターミナルプロシージャ](#)を使用して RateMux に接続して下さい。
2. 接続を確立してもらえばメニューがによってものに類似したに [図 4](#) 表示されます。メニューから 3 つのオプションの次のシーケンスを選択して下さい: 『C:』 を選択して下さい **環境パラメータ**および**フラッシュパーティション**。B を選択して下さい: **環境設定**。B を選択して下さい: **環境パラメータを変更して下さい**。
3. この後で、複数の異なるパラメータを入力するためにプロンプト表示されます。ただ次のいずれかを変更する必要があります:ゲートウェイネットマスクIPADDR他のパラメータに関しては、押された ENTER。この例で変更します:172.22.86.1 へのゲートウェイ 255.255.254.0 へのネットマスク172.22.87.6 への IP-ADDR
4. 型 S: 設定を保存する FLASH への保存**環境パラメータ**。
5. A を入力して下さい: RateMux の設定を表示するのに使用される現在のコンフィギュレーションを表示するために**環境パラメータ**をリストして下さい。

[関連情報](#)

- [Field Notice : ハングする Cisco 6920 RateMux PowerPC カード](#)
- [リリース 2.7 の Cisco 6920 RateMux マルチプレクサに関するリリース ノート](#)
- [データシートCisco 6920 RateMUX Advanced MPEG-2 マルチプレクサ](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)